



10 特定非営利活動法人樹木いきいきプロジェクト にぎわい創出に貢献するイソギク植栽 の試験的事業

法人データー
特定非営利活動法人樹木いきいき
プロジェクト
代表者:喜多智靖
構成人数18名
活動歴9年
主な活動地:門池公園など
HP:<http://jumoku-ikiiki.org/>
Mail:info@jumoku-ikiiki.org

計画
達成度
80%

事業目的 イソギクを植えて、雑草を抑え、街の景観アップ!

地域住民・団体と連携しながら、自生するイソギクの植栽を通して11~12月の開花期に見物客を呼びこむため、イソギクのもつ雑草抑制効果により、雑草対策にかかる人力・予算を軽減し、見物客増加への取り組みに振り向けるため、試験的に小面積でイソギクを植栽し、イソギクを知ってもらうイベントを開催しながら、植栽についての実験・検証を行う。

現状と目標 身近にスゴイ植物があるのに、どこでもやはり雑草で困っています

沼津の海岸に普通に生えている在来植物であるイソギクの大きな特性として、雑草抑制効果が挙げられます。1つは、密生することにより、地表面への日光の到達を遮断することにより雑草の生育を抑制する。もう1つは、根から分泌するアレロパシー物質(生長阻害物質)により、他の雑草の種が発芽することを抑制する発芽阻害作用を発揮し、雑草を抑制します。しかし、そんなすごい植物が身近にあるのに、街はいたるところ、雑草で困っています。



活動と成果 イソギクというすごい植物をまず知ってもらう!

- 今年度も新型コロナ感染拡大の影響により、地域の方を巻きこむような植栽イベント等はすべて中止しました。
- 残念ながら、沼津城北高校敷地内へのイソギク植栽活動も取りやめとなりました。
- 小規模ながら、イソギク解説講座を5回実施しました。
- 門池公園で行っているイソギクの植栽・補植・お世話を、沼津特別支援学校 愛鷹分校の生徒さんで行いました。
- 前年度の課題としていた、2019年度のこの活動初年に植栽したイソギクの生育が良くない状況について、イソギクが唯一苦手とする水が溜まる対策として、別工法を採用して、再植栽を実施しました。経過は至って良好です。



振り返り課題 イソギクを知ってもらえたか?

2022年1月に、沼津特別支援学校愛鷹分校で活動に参加してもらった生徒にイソギクについてのアンケートを実施しました。

イソギクの活動以前に認知度は80%弱と若干上昇傾向でした。また、イソギクに対する見た目の印象は、葉の状態、開花状態ともにほぼ100%の方より「悪くない」という評価を受け、緑化植物として十分機能していることが確認できました。

今年度、2019年イソギク植栽エリアへの再植栽を行い、水が溜まる場所での対処方法についても一定のノウハウを得ることが出来ました。

現在、富士市内では岳南電車沿線を中心に植栽エリアが拡大していますし、宮城県東松島市の海岸公園への大規模な植栽についても検討が始まっています。なかなか進まない沼津市内での活動をどのように門池公園の外で拡大させていくかが課題となります。

関連図

